

島のひろば

第695号

「島のひろば」編集委員会電話 04992-2-8256

くらしの相談は共産党町議団へ

小池2-9318 山田2-3670
酒井090-4545-0032

小池 6月
議会に引き続
き質問します。
地元住民の不
便はもとより、
親族の帰省や
観光客の受け
入れにも大き
な影響がでた
との声を聞き
ました。住民
の方々の切実
な願いとして、
物価高騰を受

この夏の船便
をめぐっては住
民の声は切実で、
町としても早急
な対策が必要だ
として小池議員
は質問しました。

この夏の船便
をめぐっては住
民の声は切実で、
町としても早急
な対策が必要だ
として小池議員
は質問しました。



大型船
の通年運

けての運賃の低廉化、
欠航の頻度について
は大型船の通年運航、
繁忙期の運行ダイヤ
が不便で、何とか以
前の運航ダイヤに戻
せないか、というも
のです。

国土交通省では、
「離島航路補助制度」
を実施し、島民生活
に必要な不可欠な離島
航路の維持・確保を
支援しています。

東京都でも、補助
事業を実施し
ていますが、
どちらも東
京と熱海と
いう2つの
航路で運航

している大島は該当
していません。
そこで私の個人的
な見解ですが、高速
船の東京航路ダイヤ
を以前の運航ダイヤ
に戻すには、熱海航
路を単体路線として、
公設の新造船または
船舶の買取による、
現行の運航事業者、
あるいは、新規の運
航事業者に運営を請
け負ってもらえば、
「離島航路補助制度」
の補助金の
対象にな
ると考え
ます。

9月議会開催 住民要求実現をめざし 共産党3議員奮闘

9月9日から18日まで大島町議会第3回定例会が開かれま
した。今回は昨年度の決算審査が大きな議題で、二つの常
任委員会へ付託された決算案を現地調査もしながら審議
し、承認しました。

この夏の島を揺るがせた東海汽船の船便問題、出張所統合
問題などの大きな問題も含め一般質問と常任委員会審査で
共産党3議員は住民要求実現をめざして奮闘しました。

東海汽船問題で小池議員質問

航については、
「東京都離島航路
地域協議会」で合意
された「定期船長期
離脱時の対応」に基
づき代替船の確保等
による実現を望みま
す。

7月23日、東京都
島嶼町村会及び町村
議会議長会により
「伊豆諸島及び小笠
原諸島航路の安定的
な運航確保に関する
要望」を東京都他に
提出した報告を受け
ました。

出張所問題では酒井議員が

7・8月に開かれ
た出張所統合問題の
説明会に7地区も参
加した酒井議員は住
民の意見を踏まえ質
問しました。

酒井 私も岡田と
差木地以外は参加さ
せていただきました
が各会場で多くの住
民の方が出席され多
くの意見が出されま
した。

提出した要望書に
ついて改めて内容を
お聞かせください。
また、提出後に何ら
かの報告・協議はあ
りましたか。加えて、
早急な対応が望まれ
ますが今後の行動予
定があればお聞かせ
ください。

町長 7月23日の
東京都他への要望書
の内容は①離島航路
の安定運航に向けた
支援について②離
島航路運営費等補助
金の拡充について

意見を大まかに分類
いたしますと
①出張所統合の是非
はともかく計画の進
め方に関する苦言、
②出張所が廃止され
ることに対する不安・
批判、③統合の根拠
とされる人口減によ
る出張所の業務量の
減少という説明に対
する疑問、④出張所
を廃止せず存続させ
るための具体案、⑤
大島町役場の職員不
足に対する意見といっ
たものになりました。
この中で①に関して
は昨年の差木地プー
ルの廃止計画に係わ
る話の進め方で、地
域住民の意見を聞く
こともなく観光利用
がほとんどないこと
を廃止理由の一つに
挙げた事に大きな議

③離島航路の定期船
長期離脱時の代替船
の確保についてで
す。要望後の進捗は
現在のところありま
せんが、7月25日に
は東海汽船へ、9月
2日には国交省への
要望を行いました。
また、熱海航路を単
体路線にというご提
案は現時点では難し
いと考えます。今後
とも陳情活動等行っ
ていきますのでご協
力をお願いします。

論となりま
した。

その経験が
あるのに出
張所の統合



張所周辺に
飲食店やゲ
ストハウス
が開業し、
賑やかにな

という地域の住民に
とって大きな不便を
伴う事業を、前もっ
て意見交換しなかつ
たことは間違いだっ
たと思います。

また島全体が高齢化
する中、地域の高齢
者の状況を熟知した
行政機関があること
が望ましいとの声も
あり、地域の声も尊
重すべきと思います。

②に関しては地域の
方にとって出張所と
公民館はただ証明書
の発行や税金を納付
をするための場所で
はなく、婦人会や老
人会、地域イベント
の拠点であり、6ヵ
村時代から続く地域
コミュニティの心
の拠り所でもあるこ
とは重視すべきだ
と思います。

③④に関しては
これからしっかりと
業務量調査や統合計
画の是非の再考など
が行われることと思
います。

泉津地区では保育園
も小学校も無くなり
これ以上公共施設が
地域からなくなれば
地域が衰退する、と
いう切実な訴えがあ
りました。また、波
浮港では近年民間活
力で波浮の港町や出

⑤に関してはよ
り一層の職員採用を
求めるばかりですが、
職員が離職する状況
を客観的に判断する
ために内部の努力・
調査だけでなく外部
のコンサルティンク
会社に依頼し職場環

境のパワハラやコン
プライアンスの問題
がないか調査するこ
とも検討すべきと考
えます。

以上①⑤に関して
坂上町長の意見と今
後の方針に関してお
聞かせください。

町長 住民説明会
後、いろいろなご意
見を踏まえ、庁議に
て決定した内容をお
答えします。

・本年度実施の役
場業務量調査の結果
をもとに、出張所を
含めた業務全体の見
直しを図る。

・出張所ごとに各
地区の住民の方々と
「出張所のあり方」
について検討する。

・役場業務の見直
し及び出張所のあり
方の検討結果を踏ま
え、出張所統合等を
判断する。

・以上が終
了するまでは
出張所は現状
通りとする。
以上のような



※山田議員の質
問は次号に掲載
します。

に今後の方針を決定
しました。

町の財政環境はま
すます厳しくなっ
ていくことが予測さ
れます。産業振興等、

スリム化も含め、住
民のご理解を得なが
ら、次世代に引き継
ぐことが重要である
と認識しています。

住民説明会におい
ての苦言・不安・批
判・意見については、
真摯に受け止め今後
に活かしてまいりま
す。なお、仮に出張
所が統合したとして
も、地域の拠点とし
て施設は存続します
ことを申し添えます。
またハラスメントに
関しては外部相談窓
口の開設を、コンプ
ライアンスに関して
は外部講師による研
修を今年度より実施
しており、
まずはその
防止に努め
て参ります。

大島文学・紀行散策

拾遺編

耕平逍遙

—— 童話・書簡・日記を読む

二四

554
時得孝良

島娘も自然の一部

耕平の歌集「青杉」を鑑賞
するのに欠かせないのが「島
日記」である。八章からなる
短文集中、日付もなく日記と
いうより「島滞在記」と受け
とめたいと思う。

の娘が古木の枝を払って居
る。娘はやや隔たった木の間
に、あちら向きに立って居るの
で、私の来たのに気がつかぬ
らしく依然として鉋を動かす
手を止めない。

「島日記」は、

「島日記」は、耕平が来島
した一九一五―大正四年から
三年目の一九一七―大正六年
に短歌誌「アララギ」に寄
稿、以後断続的に発表したも
のである。

あたりに鳥が啼いて居
る、木の芽が色づいている。
日の光は明るく暖かい。そし
て娘の髪は黒く美しい、項は
白く、姿はいかにも若々し
い。皆春だ。自然も人も。私
はこの娘の命が全く自然の一
部であることを感じた。

この頃はまだ三畳間の狭い
部屋を借りて、弘法浜や掘割
道を通って畑やその近くの山
林に遊ぶのを日課にしてい
た。「島日記」の最後の方に
次のような一節がある。少し
長くなるが引用紹介しよう。

恐らく娘は、自然に対して
美の感得もあるまいし、また
もとより難しい解釈を下して
居るよう筈もない。けれど娘
は自然と同化して居る。自覚
せずに同化して居る。

《森かげの道を通ると、一人

(以下次号)